京城日報

○吉林問題と處行

小康を保ちたる如くなりしも [illegible]

○應援軍準備成る

命を承け南方討伐の援軍編組中のところ既に準備成りたるを以て何時にても出發すべき旨報告したり（北京電）

○二十八師長任命

五十六旅長殺令純氏は同師長の職を代理せしめ [illegible] 任命を電請中のところ [illegible] 任命せられたり [illegible]

○支那武官通過

陸軍大佐 [illegible] 支那武官十七名は [illegible] 日午後七時 [illegible] 京城より來京 [illegible] の筈なり（京城特電）

○龍居理事東上

滿鐵龍居理事は借款其他重要なる用務を帶びて北京出張中なりしが四日大連より奉天を經 [illegible] 六日夜出發朝鮮經由東上の豫定なり（京城特電）

○武藤代議士消息

代議士武藤金吉氏の一行は三日四平街より鄭家屯を經て遼西に向へり（奉天特電）

◎總督東上

[illegible] 四日午前八時十分南大門驛發列車にて東上の途に就けり同列車には [illegible] 各部局長 [illegible] 官房 [illegible] 師團の幕僚、朝鮮貴族、諸會社 [illegible]

◇總督一行出發 ‖四日南大門驛にて‖

◎滿洲教育視察團 歡迎席上の清興

朝鮮總督府主催滿洲教育視察團一行三十五名は既報の如く一日午前大連入港の相撲丸にて著連滿鐵社員の案內にて第一第三小學校及び大連商業學校中央試驗所等を視察し一行中の平壤高等女學校教諭小松久夫氏は惡感出帆に際り腸加答兒に罹り半身不隨に陷り著連後直ちに滿鐵醫院に入院せり午後六時より滿鐵朝鮮銀行支店東洋拓殖會社支店主催となり電氣遊園に於て歡迎會を開きて一行を招待せり主人側よりは前記主催者及び教育側より數十名出席し村井滿鐵地方課長起つて開會の辭を述べ、視察團が教育以外に於ても滿洲に於ける歷史、政治、經濟、產業、風俗、習慣、及び內地人の狀況に就きて深く視察研究を望むと述べ次で團長上田駿一郎氏客辭を述べ且つ曰く教育は單に教育そのもののみを視察して其の眞を捕捉し得べきものに非ず之れに關聯して軍事、產業等一切に亘りて直接間接の關係より推究を始めて其の要を得るものなり此の行二旬の少日子を以て能ふ限りの視察を遂げんと欲すと述べ、酒宴の移り支那藝妓數名の斡旋に歌唱して興を助け主客交々起ちて感想を述べたるが井上大連第一高等小學校長は視察者の參考の爲めにとて滿洲は豆に豆粕料理店の酌婦に土木請負ひといふ落語を演じ次で橋爪滿鐵記者の演說あり視察團中の一人は船中天長節を迎へて作りたるラッパ節

黃海上波靜か、相撲丸の甲板で東に向ひて伏拜み、萬歲唱ふる天長節

[illegible] 井上恒吉氏の [illegible] 上田編修官の船中天長節の [illegible]

菊日和船に迎へて佳節哉

本朝鮮教育團の [illegible] 銀行支店長の發聲にて萬歲を三唱し主客盡して午後九時解散したり一行は二、三日市中及び各學校を視察し四日旅順に赴き同日引返へし午後八時列車にて奉天に赴く筈なり（大連）

◎鮮滿電報比較

最近は滿洲上位にあり [illegible]

◎鮮鐵時間改正の効果

[illegible]

◎南滿徵收好績

[illegible]

◎葉煙草品評會

[illegible]

◇當局の施設

[illegible]

◇酒稅の內

[illegible]

◎大田驛基礎工事

[illegible]

◎戶田安宅氏入京

[illegible]

◎大朝發賣禁止

[illegible]

○獨逸宰相に推されたるバヴリヤ國首相ヘルトリング伯フォンは、遂に辭退して、宰相の職を避けたり。之れ即ち、獨逸政治上の危險を暗示するものに非ずや。其前宰相ベートマン、ホールウエッヒが、密に政界を計らんとす [illegible] ホールウエッヒは、歐洲大戰の張本人也。獨逸をして、今日の獨逸たらしめたる彼は、獨逸に對して、否、歐洲大戰に對して、其の結末を付くべき、責任あるべし。されど彼の辛辣は、却て獨逸をして、其の運命を、早からしむべし。

大邱 河陽間 營業開始
大正六年十一月一日
朝鮮經便鐵道株式會社

第五十版
何人も
大正七年御壽寶
大正七年農家曆
神誠館

種苗販賣
苗木の部
一落葉松 一赤松、黑松 一山赤楊
一桑 一杞柳細葉種其他
種子の部
一赤松 一山赤楊 一黑松 其他
朝鮮京畿線芙江驛
忠清農林社 種苗部

新刊
圖工になるまで
工學士 小川芳太郎氏著
紙數二百餘 圖版百八個（內容見本進呈）
正價八十五錢 郵稅六錢

新刊
銅と亞鉛
和田理學博士序 理學士豐原信一郎著
正價金壹圓 郵稅八錢

三版 タングステンとモリブデン 豐原理學士著 正價六十錢 郵稅四錢
サクション瓦斯 押川製鐵所長序 內山大一郎著 正價一圓八十錢 郵稅十二錢
瓦斯機關顧問 同 正價一圓五十錢 郵稅八錢
機械見取 西山工學士校閱 武山庄太郎著 正價九十錢 郵稅八錢
機關車名稱鑑 江浪工學士閱 今井技師著 正價一圓五十錢 郵稅十二錢
發行所 東京神田區表神保町 工學書院 振替口座東京一三九三〇
滿鮮發賣所 京城本町 大阪屋號 振替二五七番 電話（六八四）

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
同 龍山出張所 龍山元町三丁目
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

明年は勤人の當り年
近く全國に配布される明年の暦

大正七年度本略暦は伊勢の神宮神部署で調製されたので近く全國に配布される筈だが大正七年は戊午の歳である神武天皇即位紀元二千五百七十八年で西暦千九百十八年に相當してゐる

▽暦の體裁に　於ては本略暦とも本年と大差はないが二回の日蝕一回の月蝕中各一回宛日本に於て最も鮮明に觀測し得られる事は近來になき珍現象である日蝕は六月九日で東京に於ては午前四時四十九分七に上右の間に蝕け始めて同六時四十一分下の左に終り八分八厘といふ蝕甚部分を示すのである而し鳥島にては

▽皆既蝕に見　られるのであつて日本の領土としては誠に珍らしい事である又臺北京城撫順釜山長崎地方は日帯蝕となり日の出に際して既に蝕を帯びてゐるが京都東京札幌及び樺太の大泊は普通の日蝕として蝕け始めより終りまで認められるのである

◉月蝕は六月廿四日午後六時五十二分八に下の右に四厘の蝕を示して出で八時零九分八に右の下に終る帯蝕で一分四厘の蝕度を示す事となる此外十二月三日南米智利にて日蝕金環蝕が起る筈であるが是れは吾國では觀測をなし得られない又先年彗星の光りが白晝に現はれた時世の人は是を以て何等かの凶兆ならんと

▽甚く世間を　騒がした事があつたが此現象は來年一月四日前後並に三月十六日前後の二回に亙つて起る筈で別に珍奇な事ではなく二三年に一度は必ずある事で俗稱宵の明星曉の明星即ち金星が其の最大光度に達した時晝間に其光りを留めるために起るのである、扨て來年度中お勤連中がお樂みの

◉日曜は丁度五十二日間大に増められた十一日の大祭日に幸福にも日曜と衝突する日は一度もないのみならず一月六日は日曜なので正月は七草まで休み續きで三日續く紀元節は日曜明けの月曜日八月[illegible]十一日の[illegible]二十三日の[illegible]と連續的の休日が可成りに多く此點に於ては來年は先ず勤人の當り年であらう（東京）

美事な手工品

私立新修裁縫學會にては四日の日曜に生徒の裁縫した衣類及び綿染め其他手工製作品等を陳列して展覽會を開いたが出品は何れも廢物利用を本旨としたものであるから殆んど廢棄物に等しき布帛を活用したりして美事な衣類、其他の裝身具を拵へ上げたものゝみを陳列してあつたが、何れも美事なもの、撫でて之が[illegible]とは[illegible]の外は無かつた

落葉掻き　（四日奬忠壇公園にて）

木炭は何處から來る
京城で消費する根炭と白炭の産地

近來諸物價の暴騰に伴ひ著るしく生計費の膨脹を來し[illegible]の[illegible]き折柄日用品として缺べからざる

■根炭の騰貴　[illegible]しく一般の[illegible]を[illegible]所である[illegible]に[illegible]の[illegible]は[illegible]を有せる一般市民は[illegible]を繰り返すが如きことなき[illegible]して居る向も多い[illegible]商業會議所の調査に由る[illegible]で消費する木炭は根炭と白炭の二種で外に

■京義線から　出するものもあるが其他白炭は[illegible]からは多少は産するが論ずるに足らない[illegible]の[illegible]は大部分京義線から來るものであるが京元線から來る根炭は殆んど白炭ばかりで其北漢江を流下して京城に入るものを[illegible]と見て差支へない[illegible]は京畿道楊州郡、[illegible]郡、洪川郡地方の産出に係り

■少量の枝炭　がある根炭は主として京義沿線金郊、水田各驛に近く[illegible]川洗浦[illegible]各驛附近の山地[illegible]流地方から産出するのである枝炭は京元線東豆川京義線南川から出るもの[illegible]接[illegible]に於て

■其の南漢江　を下るものは京畿道楊平郡驪州郡江原道寧越忠清北道忠州方面から來るものの地方の産品で遠くへある、併し其の品質に至つては各同一郷所から出るものでも又山によつて良し惡しがあるから一概には言へないが根炭は南川、汗浦、[illegible]に[illegible]

■又漢江上流　地方から來る白炭は京元沿線の産品に比べて甚だしく劣つてゐる。次に之等木炭の量目を見るに根炭は普通六貫俵と稱するもので正味四貫五百乃至五貫目其の最も少きものは正味四貫目にも滿たないものがある白炭は鐵道便で來るものは正味六貫俵と稱するもので實際の正味は五貫乃至五貫五百位である漢江上流即ち蟲島邊りから來る白炭は大俵で正味六貫八百[illegible]のものもある（つゞく）

花園信山還俗の意

眞宗興正寺法主眞淳師の令弟花園信山師は京都帝國大學に入學中なるが現法主を廢し信山師を立てんと計る者あるより法主の秘書となり還俗の意あり本山にては鎭撫に就き重役等心痛しつゝあり（大阪特電）

歩哨勤務中
鐵砲自殺
新義州守備隊の二等卒

歩兵第七十七聯隊第三中隊（新義州守備隊）二等卒山口縣豊浦郡阿川村生れ浦久達三（二）は三日午前九時半より十時半迄歩哨勤務中に鐵橋第二哨舍にて三十八年式銃を咽喉に擬し哨舍の壁に凭り足の拇指にて引金を引き無慘の自殺を遂げたる椿事あり同十時十分頃谷巡察上等兵之を認め直ちに衛兵司令に報告し現狀に至り見れば見事に咽喉より大腦を打ち貫き鮮血哨舍の天井に飛び散り其儘壁に凭り絶息せり原因は遺傳性の腦病に

船夫等穀類を竊取す

洛東江を流下し釜山府下牧ノ島に到着する穀物輸送の帆船々夫は搭載物より各叺五合乃至七八合を拔取り之を隱匿しなし居れりとの噂を聞き込み釜山警察署にて内偵中去る廿八日富平町日韓市場の穀商朴某方に出入する船夫の男あり挙動不審なるを以て釜山署の刑事が同人を訊問せしに[illegible]人の船夫[illegible]を[illegible]にて[illegible]

京城酒商組合の店員表彰式

京城酒商組合に於ては本月三日午前十時より南山町京城ホテルに於て同組合各商店の第三回店員勤續表彰式を擧行し前田副組長より七年、五年、三年の各勤續者に對し賞品メダル及び賞狀を授與せり尚ほ同組合は昨年より毎月一回組合店員一同の爲めに各方面知名の士を聘し精神修養に資する講話會を開催し品性の修養に關する所あり近來漸く其効果を顯し組合店員の素行大に改善せられたりと

老婆慘死

咸南甲山郡惠山里[illegible]李氏（六十）は去る十九日午後一時頃惠山里南方約三丁の山にて粘土を堀り居りたる際俄然土石崩壊墜落し同人は避くる遑なく遂に土石に壓殺されしが屍體は戸主に引渡さる

三名で袋叩き

咸南北青郡[illegible]洞李[illegible]（二三）同里李[illegible]（二二）同里[illegible]七（二〇）同里李[illegible]（二二）は十月[illegible]日同面上里逢田洞[illegible]を[illegible]し[illegible]の中を[illegible]に[illegible]して[illegible]命の程も[illegible]と遂に[illegible]三名は北青分隊に檢擧されたり

厄介者

咸南[illegible]郡[illegible]今立郡鍋江町當時京城明治町二丁目飲屋業[illegible]長男宮永修一（二）は同町[illegible]治太郎妻荒金タツ（二）と情を通じ居りたるが遂に本夫に發見せられ兩人は手に手を取つて平壤に逃げ來りたる由を聞き込みたる本夫は平壤署に妻の保護願を差出したり（平壤）

鐵原の農産品評會を觀る

江原道北部五郡聯合畜牛及び鐵原郡農産物品評會は三日から五日まで鐵原に於いて開かれること、なり三日の午後一時

■會場に充て　られた鐵原公立普通學校構内に於いて會長劉鐵原郡守、審査長菊地勸業模範場技師外審査員その他協贊會役員來賓等參列の上簡單なる開會式を擧行した、會場は近く

■新築落成を　告げんとしつゝある普通學校々舍及び公立尋常高等小學校を會場とし鐵原の外淮陽、金化、平康、伊川の各郡から出した畜牛の外農業林業及び鑛業教育の各部に別れ、之れに附屬して以上各種の參考舖等あり、小規模ながら多方面に亙り

■各種の出品　を集めたのは多數の參考品と共に地方郡民のために裨益するところが尠なくないやうだつた、審査は開會と同時に菊地技師主査の下に開始され夕原までかゝつてゐた、全部の審査は四日までに終了の筈である、品評會開催と同時に鐵原の

■景氣は非常　に引立ち地方農民の來る者非常に多く停車場附近及び邑内は國旗提灯を掲げて裝飾を施し鮮人の舞樂、煙火打揚などの餘興の外、邑内の内地人商店等は俄かに賣出しを開始するも多く近來稀なる賑ひを呈し、尚ほ三日夜農商務省技師の

■片山博士が　元山より京城に來る途中品評會觀察のため立寄るもあり附近鐵道沿線小學校生徒の團體觀覽も多數あつた（一記者）

大演習の前

大阪にて　青霞生

一般氣流の調査

從來測候所にては僅に測雲儀によれるのみにて氣流觀測の設備なかりしが、大演習に於て上層の氣流觀測の必要あり右の經緯儀二臺を購入する事に至れるなるがこれ迄氣象の觀測は主として平面に發達せるが文明の漸次立體的となるにつれ研究が此方面にも必要となりて土地の起伏河川舟流及び湖水等が如何なる程度まで上層の氣象に影響を與ふるかを調査し、又琵琶湖に起る海陸風の研究或は比良化颪とか、伊吹颪とか、其他一般の氣流を調査するには必要なるものなり

風船玉を飛揚

それが觀測法は水素瓦斯を充滿したる風船玉を飛揚し、其の運動は經緯儀によつて觀測するものにして普通一個一グラム乃至五、六グラムのものを約千五百米突の上空に飛揚する事にし、一點觀測は測候所構内に於て二點觀測は海拔八九の構内觀測臺より長曾根波止場の[illegible]との距離[illegible]時には[illegible]をはかりて[illegible]し[illegible]（夜）等を使用し精密に觀測する

夜間飛行の準備

夜間及び早曉の飛行準備として夜中上層氣流觀測の必要あり、殊に夜間は一般氣流に伴ふ下層風は軟弱なるも上層に於ては依然風あり、又た[illegible]に依りて起る[illegible]風の關係上[illegible]の必要を生ぜり、これには四十グラムの[illegible]に豆電燈を裝置して飛揚し、其の運動の方向及び速度を觀測するものなるが之に使用すべき豆電燈は乾電池と電燈とを合せ四乃至五グラムの輕量に仕上げざるべからず且つ發音の藥品が劇藥にて行人の頭上に落下せば危險なるを以て測候所に於ては落つるに當り空中に飛散する方法を案出しなりと、これ飛行演習に就て重要なる設備なり

絶好の機會

歐洲の實戰に徴するも遠航飛行攻擊の難事にあらざるを以て海洋を去る間遠からざる我邦重要都市は國防上危險率を高めたるものと云はざる可からず、飛行機母艦の活躍するときは絶對に安全なる都市はなしといふも不可なかるべく之が防禦としては地上に於て海に出沒するときは倫敦市に於ける實施すに備なきは[illegible]空中戰を開始し防禦するの外なし、されば今回の大演習に於て航空隊は頗る重大なる使命を有するものと云はざる可からず、日本の軍用飛行機の活動が那邊まで進歩せるかを驗するには蓋し絶好の機會と云ふべし（つゞく）

◉妙心寺接心　長沙洞妙心寺にては五日より九日迄五日間毎日午後六時半より九時半迄接心あり

◉正誤　四日夕刊「家庭の温味を知らぬ」記事中女監獄吏さあるは女監護吏の誤二段八行目見込ある者は感化院に收容は、見込無き者の誤植に付正誤す

浮浪の[illegible]

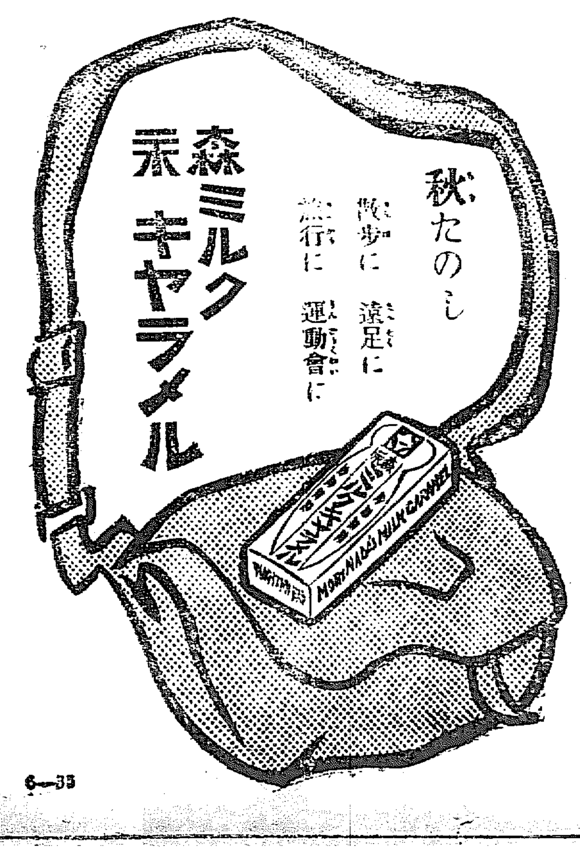
[illegible]浮浪女の手本　平壤府[illegible]巡[illegible]一丁目居住養[illegible]街丸山榮三郎（三）の[illegible]は昨年八月中平壤公園劇場に興行せし山[illegible]一行中の奇術師[illegible]伯[illegible]に[illegible]られて平壤に遁れ[illegible]られしも[illegible]東の[illegible]にて又も[illegible]け出したるより榮三[illegible]方[illegible]

二等（五十一名）伊藤義久、田坂一郎、同たま、同よし、同あさ、同謙、同不二、根村上日十郎、大西武、福田秀一、浦茂、同睦子、中崎盛次、同庄子、鶴毛長比古、竹石政太郎、三宅ごみ、[illegible]
一等（二名）西原啓次郎、田中治郎、二等（十九名）木多剛、平井一榮、常井利左衛、[illegible]

讀者文藝課題及び募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事、一週間後[illegible]

天氣　曇り　（五日午後六時[illegible]）

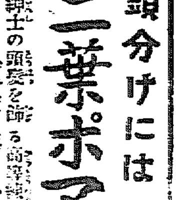


新券　第六十六回　福運壹萬圓
月賦　書留拾壹圓拾錢送料拾錢　最初一、六〇錢（送料九錢）
御望み次第品を送る最も安く手に入る簡便なる方法
各債券高く買ひ安く賣り至急御用は[illegible]
五月十月廿五月試驗あり
月賦規定書送呈
大阪市東區安土町二丁目堺筋角
小尾兩替店
振替大阪一四〇一　電話本局八〇五番
[illegible]要報[illegible]附[illegible]

急告
近來同業者中に弊社の名義を詐稱し電話又は訪問して葬儀の請負供花の寄贈を強請する者往々有之候に付御注意被下度御用の節は一應御確め之上御電話を以て御用命の程願上候
株式會社　京城葬儀社
電話五六七番　霊柩車及馬車設備有之候

轉居　京城大和町二丁目四號官舍　村田素一郎　（電話四〇八番）

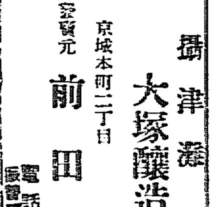
頭分けには
二葉ポマード
紳士の頭髮を飾る高等練香油コスメチツク水油を要せず調髮は思ふがまゝ御婦人は申すに及ばず到る處で高評
大阪久寶寺町　角倉支店



營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種骨及骨原料
石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番
京城西大門外[illegible]一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　電話九七三番　振替口座京城一〇〇四番

外科皮膚科醫院
瀨戸
（診察夜九時迄）
京城旭町二丁目（舊三丁目）（電話二四九八番）
醫學士　瀨戸潔

攝津灘　大塚釀造所吟製
京城本町二丁目　發賣元　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五番



旅順戰跡ローマンス
滂沱たる熱涙を振ふ久保田驛長

旅順の戰跡を訪問する者は滂沱たる熱涙を振つて旅順攻圍軍の惡戰苦鬪の模樣を説明する久保田旅順驛長の熱誠に感激せない者はない。其の旅順の主とも謂ふ可き久保田さんは今度[illegible]

久保田旅順驛長

◇久し振りで 入京した久保田さんは眉毛の長い温和の人[illegible]其の裏に秘めた陰の底から輝く[illegible]驛長になつたのは明治三十九年で[illegible]に熱中して或時は皇國の鬼と化し[illegible]たる軍人の白骨が風に打たれ雨に朽ち支那人の[illegible]

◇發掘に委してあるのに憤激して檄文を飛ばして戰蹟保存の必要を説き又或時は表忠塔の建立に奔走し閣下や知名の士が戰跡を訪問すれば自ら進んで案内の勞を執り爾靈山下に激戰苦鬪の模樣を語つて白玉山上に二萬四千の英靈を慕ひ説き來り説き去つて感極まれば兩眼の涙をはふるのでどんなに

◇神經の鈍い 者でも一度驛長の説明を聞けば哭かずには居られぬそれで居て訪問者が一寸でも戰死者に對して同情のない言[illegible]

◇一場の悲[illegible] [illegible]

◇旅社[illegible] [illegible]

◇世人の記憶 [illegible]

◇兒なる人こ [illegible]

滯貨に對する釜山港の準備(二)

[illegible]

◇準備か研究 [illegible]

◇多大の打撃 [illegible]

[illegible]

朝鮮の黄棉

▲黄棉は一名[illegible]

▲栽培の沿革 黄棉栽培の沿革は文獻に徴すべき資料なきを以て其の栽培は普通白棉と殆んど同時に始まりたるものの如く古來相當の作付を繼續し來りたるが如し其種子が何處より傳來せしや元より明かならざれども想ふに普通棉と共に支那より[illegible]

▲其の用途 普通白棉と[illegible]

▲棉この差異 栽培法及び形態等に付ては普通棉と何等の相異なる所なく[illegible]

▲取引の状況 [illegible]

軍神橘中佐

[illegible]

撫順の一日

◆撫順の山は[illegible]

◆[illegible]

◆次に撫順坑内の[illegible]

◆苦力拂底の理由は歐洲[illegible]

松の木と汽車

ある所に高い崖がありました。その崖の下にはレールがあつて、上り下りの汽車が日に何度も行つたり來たりして居ました。崖には大きな松の木が生へてゐました。その松の木は崖からレールの上へ枝を伸ばして、傾け倒れかゝつてをりました。それで汽車はいつも松の木の傍を通る毎に『おい〳〵松の木、まだ君は倒れないか、まだ君は倒れないか』と惡口を言ひました。けれども松の木は根がよく張つてゐるので倒れかゝつてはゐるけれども、なか〳〵倒れません。かうして松の木が、いつ見てもまだ倒れないでゐるものですから、ある時汽車は、

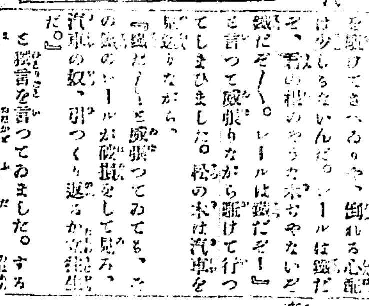
『強情な奴だ。まだ倒れずにゐるのか。早く倒れろ、早く倒れろ!』と申しました。松の木はグッと汽車を睨んでかう言ひました。

『倒れるものか、倒れるものか。ちやんと僕には根があるぞ、根があるぞ。根のない君こそ、倒れぬやうに用心するが好い』すると汽車は松の木を睨み返して

『根がなくても僕にはレールといふものが附いてゐる。レールの上を驅けてさへ居りや、倒れる心配は少しもないんだ。レールは鐵だぞ、君の根のやうな木ぢやないぞ、鐵だぞ〳〵。レールは鐵だぞ!』と言つて威張りながら驅けて行つてしまひました。松の木は汽車を見送りながら、

『鐵だ〳〵と威張つてゐても、その鐵のレールが破損をして見ろ、汽車の奴、引つくり返るか立往生だ。』と獨言を言つてゐました。すると間もなく大風が吹き出し、大雨が降り出して、ちやうど崖の眞下のレールが破損をしました。松の木はそれを眺めて、

『面白い〳〵。さあ汽車の奴やつて來い、やつて來い。早くやつて來い』と言つてゐるところへ、汽車がゴウ〳〵と音を立てながらやつて來ました。そしてレールの破損してゐるのが分つたと見えて、汽車は崖の下で立往生をしました。松の木は汽車を見下して、



『汽車君々々。』と聲をかけました。汽車は松の木を見上げて、

『君はまだ倒れずにゐるな。』

『僕は倒れないが、君はどうだ。成程鐵のレールといふものはなか〳〵丈夫なものでございますね。』と申しました。汽車は松の木にかう言はれても返す言葉がありませんので、ウンともスンとも申しませんでした。松の木は笑ひながら、

『あはゝゝ。だから餘り威張るものぢやない。見給へ〳〵僕を見給へ。お氣の毒だが御覽の通りだよ。僕の根は鐵でなくて木だけれど、御覽の通り丈夫なものだ。』

汽車は松の木から何と言はれても一言もなく、てれ隱しにプ、プーと時々煙を出しながら、相變らずの立往生!!(をはり)

左甚五郎

第七十四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

[illegible]

[illegible]

年期刺繍弟子十五歳位の者募集

半襟 ゑり治 京城旭町一丁目

浪花館 京城明治町 電話二六〇

大正館 櫻井町 電話八七三

二ヶ月にて卒業 教師 東京美髪學校卒業生
京城高等婦人美髪學會 京城吉野町一丁目

御婦人かみゆひ生徒募集

黄金館 電話二三六六

壽座 京城壽町 電話五七八番

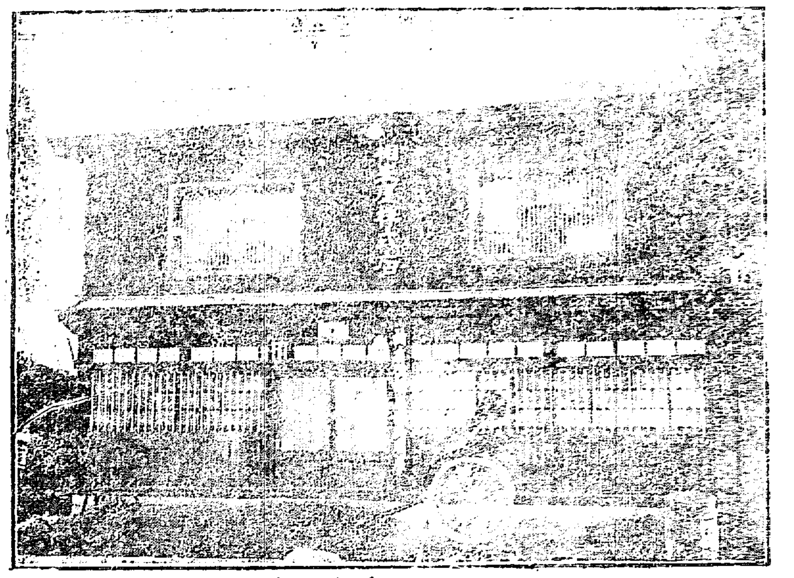
二日目引續き滿員 舊劇 桂川力藏 新派 小松島 活劇 女探偵 大每主催 宇治煙火大會 大正館

演藝案内 稲荷座 有樂館

白ウヰスキー

十一月六日九星 [illegible]

桐生屋株式店


(桐生屋株式店)

營業課目

現物部 有價證券、諸株式現物賣買 其他

金融部 有價證券擔保、代理貸附の仲介 其他

信託部 社債、株式の募集及び一般信託事業

調査部 財政、金融並に諸會社內情調査 其他

京城永樂町(電話本局一四〇、一三六、四二八、二三八、四二〇番)

桐生屋京城株式店

仁川宮町(電話長三五五番)

桐生屋仁川株式店

平壤本町(電話長一六番)

桐生屋平壤株式店

店主 林金五郎

支配人 前辯士 檜垣精三郎

京城會計主任 筈方義三郎

京城營業主任 橋本員男

平壤會計主任 村井正明

平壤營業主任 安立顯藏

仁川會計主任 坂倉伊平

仁川營業主任 平佐勝藏

法律顧問 辯護士 高橋章之助

法律顧問 辯護士 辯理士 內田守藏

謹告

謹啓 前記の如く拙者等今回桐生屋株式店へ就職仕候間何卒倍舊の御引立の程偏に希望仕候

東光社主 筈方義三郎 京城獨立門外(電一七〇六番)

大和商會主 村井正明 平壤本町(電話二一六番)

坂倉質店主 坂倉伊平 仁川宮町(電話三五五番)

桐生屋株式店開業の理由

[illegible]

成功者となる唯一の近路

[illegible]

確的安全なる現株賣買

[illegible]

定期證據金は立派に現株賣買が出來る

[illegible]

株式黄金時代

[illegible]

大正六年十月二十日

桐生屋株式店主 林金五郎識

京城日報
第三版
五日朝刊 (夕刊せて八頁)

支那漫遊
遼東と遼西
蘇峯生

滿洲の地理を槪觀すれば、北流する松花江流域と、南流する遼河流域とによりて、區分せらる。前者には、露國の勢力注入せられ、後者には、從來の行き掛りより、我國の勢力扶植せらる。乃ち日本の起點とし、遼西一帶、山海關に至る迄、今日の處、先づ我勢力區域と云ふも不可なし。乃ち最も信用ある可き正金銀行、朝鮮銀行の金票さへも、通用せざる也。否な正金[illegible]一步、通用せざる也。我が國民は、遼東あるを知りて、遼西あるを忘れたるにあらざるなき乎。

予は小蒸汽にて遼河を下り、河の兩岸の光景を眺め、福州、營口より上流に遡りて、大なる支那船の碇泊する間を過ぎ、何となく大阪川口を下るの看を做せり。顧ふに支那我究の鐵道よりも豆を積出し下ろもの、今猶ほ鮮からず。遼河は實に南滿に於ける自然的大動脈也。知らず此の大動脈を、如何にせんとする乎。

營口と山海關

遼河の右岸なる[illegible]十一月一日午前十一時[illegible]是れ[illegible]の支線也。[illegible]一望荒涼、[illegible]多く資弱なる[illegible]を見るのみ。[illegible]山海關に出づ[illegible]往て觀る能はず[illegible]

[illegible]

米國に於ける刑事政策 (二)
京城覆審法院 中村檢事長談

裁判所に於て不定期刑若くは定期刑を言渡されたる囚人は監獄に收容せらるゝも、監獄に於ては直ちに之を收容せず、一應試驗所に收容して確定せしむ。試驗所に於ては心理學者、神經病理學者、精神病理學者、其の他の醫師をして各自獨立に其の精神狀態及び能力の鑑定、自體の缺陷の有無を檢査せしめ、典獄及び監獄の官吏、此の報告書と看護官、裁判官に提供したる餘考書とを綜合して、茲に始めて囚人の勞役すべき職業を選び、且つ假出獄を許し得る短期を定むる者にして、其の手續きの精細嚴密なる、實に驚く可き程なり。是れ犯罪の動機は境遇の善惡に依るのみに非ずして、先天的後天的に精神上肉體上に缺陷あるが爲めなるを以て、犯人をして全く改善せしめんとせば、先づ其の犯罪の客觀的、主觀的原因を探究し、其の原因に應じて、救濟策を施さゞる可からざるものとなす、之れ犯罪學者、刑法學者の學說を採用したるにして、進步したる方法たるや論を俟たず。日本に於ては監獄に收容するに當つて、多く囚人の性行と犯罪の種類とを斟酌して、略同一の傾向を有する者を同一の監房に[illegible]しむるも、米國に於ては性行及び犯罪の種類等に干係なく、只職業的能力に依て區別し居る者の如し。假令ば優良の能力ある者、低能者、極端なる無能力者の三階級に區分し、第一者には複雜なる職業を授け、第二者には簡易なる業に就かしめ、第三者には田畑を耕作せしめ、且つ鑑定の結果、精神上肉體上に缺陷ある者は[illegible]

[illegible]出獄人を善導しつゝ[illegible]假出獄[illegible]保護は、[illegible]出獄人保護事業の主義として、保護に[illegible]結果、犯罪の傾向益々複雜と[illegible]人は[illegible]出獄人保護の[illegible]成績良好ならざる者の如し[illegible]

小楠公と默庵禪師 (廿三)

此の古文書で見ると小楠公は久しく默庵禪師の鉗鎚下に個事を究めたのである。其の末期の一句にも云ふべき白雲嶺の商量に依つて生死の關頭に立てる時の消息が窺はれて其の半生鍛鍊の力量が見はれる。死してある彼の大楠公が湊川の忠死に先ち明極俊公の兩頭俱截斷、一劍倚天寒の句に參じて振威一喝、身の流汗と共に大事を了畢せしと對比[illegible]

[illegible]寺[illegible]法[illegible]移り[illegible]三四年前[illegible]捨金の募集を企て[illegible]其後の消息は如何になりしが寺内首相なども若干金を喜捨した事もあるやに聞て居る
‖一老居士談‖(終り)

夢還故鄕 ‖雅會席上‖ 藤倉藤蔭
去歲十年功業空。客懷日夜欲歸東。夢耶非夢夢初覺。寂寞依然茅屋中。
評曰 同上 限恨未[illegible]
大陸 鳩佃
天涯、男綫經年。一夢還鄕畀前。[illegible]

誰 (三)
布施生譯

[illegible]

謹告

弊社兼營[illegible]建設部にて起業中の朝鮮兼二浦に[illegible]製鐵[illegible]城に可造候に就ては今般新設[illegible]三菱製鐵株式會社[illegible]本日より右業務一切を引繼き製銑[illegible]候間右御了承の上[illegible]御眷顧賜度此段謹告仕候也
大正六年十一月一日
三菱合資會社

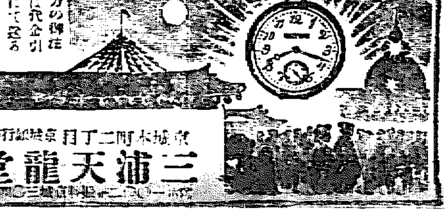
弊社儀本日より三菱合資會社臨時製鐵所建設部所屬に係る業務を繼承し朝鮮兼二浦製鐵所に於て製銑製鋼等の鐵工業經營を開始致候間何卒御高庇賜度奉希上候也
大正六年十一月一日
三菱製鐵株式會社
資本金 參千萬圓
本店 東京市麴町區八重洲町壹丁目壹番地
製鐵所 朝鮮黃海道黃州郡松林面兼二浦

安藤善四郎著
朝鮮鑛學採鑛法
四六版二百五十頁 並製壹圓貳拾錢 上製壹圓四拾錢 送料六錢
發行所 京城本町一丁目 ウツボヤ書籍店

朝鮮總督府編
▲本文に有用鑛石鑑定表、朝鮮鑛業令▲
採鑛法、鑛山發見法、石鑛分拆鑑定法、各道鑛山地質鑛脈、所在地
鑛物に關する一切に涉る初學者も一讀了解し得る樣述せり當業者諸氏の是非讀破せらる可き參考書也と信ず
發行所 ウツボヤ書籍店

朝鮮藥草植物調査書
本書の公るゝや學校、病院、醫生、藥店、植物採集者より大好評を以て迎へらる
漢方藥料原名の外鮮名、効用、産地には價格表を付す朝鮮に於ける唯一の藥用植物書なり
四六版洋裝 定價九拾錢 送料六錢
賣捌元 京城日報社代理部 京城太平通 振替三〇八番
賣捌所 京城本町二丁目大阪屋號 京城本町二丁目巖松堂 京城本町二丁目日韓書房

實業之世界
權威界唯一の模範的月刊雜誌
發行所 東京神田錦町 實業之世界社
京城 一松堂

時計貴金屬指輪眼鏡商


京城本町二丁目
三浦天龍堂

最新刊
朝鮮の冬と防寒法
論文選集
中學作文講話
日本商法
宗教と民主思想
代數學
露西亞に遊びて
大阪屋號書店

内田鞄問屋

京日案內
普通
貸家 黃金町三井物産附近日本建二階家 間數五 瓦斯水道電燈付き 逢萊町四丁目中村 電一九七七
店員入用 十六歲より廿歲位の身健全なる人要保證人本人來談 京城本町二丁目 九一洋貨部
株式讓 證券 煙草株式 株金廿五圓拂込の者金拾五圓五十錢にて五十乃至百株讓 姓名在社
番外
中古獵銃至急讀る 京城新橋洞七〇 八番二連十二番自働五連及二連 宇城方
女子募集 十四歲より廿五六歲迄の者 尋常小學校卒業程度 龍山 總督府印刷所
獵犬讓 セッタ種一歲 家庭訓練的良種 獵場用共に完成す 希望の方は下記へ來談あれ 實地試驗に應ず (義州通)冷洞七番 吉村
鑛物各種分拆 太平町二丁目 電二八三 遠藤醬油店側入る 松永分拆所
恩給年金立替 五年 三年分迄無保險 京城若草町 電話二三九一 金光教會裏手 國江商會

◇貨幣本位廿年記念祝賀會場に於ける松方老侯の演説

◎獨紙の政策宣言

一この新機軸を示せり

▲大和民族

◎米國務卿の陳述

小國提議に對する露國の回答に則り外交政策

◎物價騰貴と地方經濟状況（六）

▽慶尚北道

武藤氏と同行者

◎ケ首相露國新首都に

◎露都に暗雲漲る

戰力行動に出づべしとの……之に對し首都の秩序を確保し維持する……手段を執るべしとの命令……

◎帝國議會召集期

◎内務・行通過

◎日露觀察團

大連滿鐵隊……

◎京畿稻作豫想

◎露政府茶專賣案

……に關する法律案を作成せる……の收入を見るべし

◎露國公債應募額

二十三日四十億一千八百萬留

◎駐英米大使演説

使に對し同市長……て曰く米國は最後の一兵を……の勝利を得る迄は戰爭を繼續……

◎優勢なる英海軍

キャンベルゲデス氏は下院に於て……艦隊が北大西洋及北海にて中立國……待たる効績は殆んど言語に絶す……排水噸數は二百四十萬噸なり……にして開戰當時の補助艦は……百六十六隻を數へ戰前に於ける……今日は三十九萬人と成れり……ものなるが其航空隊は七百人より……空隊は敵の潜航艇の……英國沿岸を巡航せる……

◎伊軍敵前進阻止

十一月一日伊國公報に曰く……我軍は作戰上極めて困難なる状態にありしにも拘らず……に依りて敵の作戰計畫より免れて勇敢なる我後護隊の抵抗は敵の……

◎支那各地形勢

▲雲南軍總攻撃　四川督軍……攻撃をなさんとするもの、如く已に嘉定方面より出動を開始したり之に對し雲南軍は未だ攻撃に出で……

……して安武軍十九營は已に湖南に向ひ三十日迄には全部長沙に到着せ……にして伯仲の間に在るも二十五日以來未だ戰鬪ありたる模様なし

……より出たるものなるを以て余は直接大總統に訴へ圓滿なる解決を圖めたる上は新督軍李耀漢氏は其地位を譲るも亦不可なし而して余……

◎東郷中將東上

◎安田氏・行動靜

◎東洋拓殖と海外興業

姉妹會社に非ず、興業會社の事業　川上東洋拓殖會社理事談

……に事業を基幹として東拓援助の下に……新に會社が出來たとしたらばそれは疑ひもない姉妹會社である、

▲一千萬圓の海外興業會社は東洋拓殖會社で四分の一の株式を引受け又其事業にも組織にも……東拓の關係を有したのであるが、

▲海外興業と東洋拓殖は何等さうした關係はない、新に東拓の最力援助により生み出した新會社で乃ち母と娘の關係なのだ、遂は餘り混同して欲しくないと思ふ、新興業會社には東拓から重役幾名かを推薦し事業の經營に興する事になつてゐるが其南洋南米に於ける移民取扱び並に指導……

◎府土木係移轉

京城府土木係は久しく狹隘を告げ居りしが其の一部は三日商業會議所事務所の一部を仕切り移轉を了し……日より執務しつゝあるも全部の移轉は來る八日同會議所の東拓樓上……移轉後に決行すべしと

◎御下賜金分配

本年八月……の大水害に對し畏き邊より御下賜相成りたる恩賜金中大田郡の分配額は四十七圓二十錢なるが聽にては死者又は行方不明者の遺族へ金三圓宛家屋流失者十二戸へ金一圓十錢宛同全潰者二十戸へ七十錢宛同半潰者三十五戸へ金……

◎黎元洪湖北調停

◎四川軍攻撃開始

四川來電＝十月二十八日……

……方面に壓迫し……隊は……雲南軍は戰鬪を避けて……方面より出發せる雲南軍を應援せんとする……

◎廣東督軍省長の聲明

廣東來電＝廣東督軍陳炳焜省長李耀漢兩氏は連名宣言書を發して余等兩人相提携し廣東省の平和と秩序とを維持するの責任ありと聲明せり陳炳焜は依然督軍の事務を執りつゝあり督軍更迭問題は二日貴州に到着せる陸榮廷氏に依り決せらるゝ可く廣東省中は平穩にして李省長は陳督軍を驅逐するの意なし（上海特電）

◎露國對敵態度

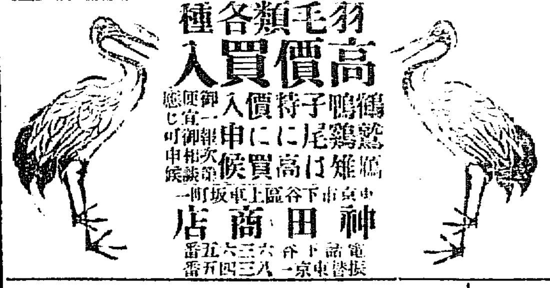
露西亞に於ては十月二十五日より……に露國有力……依れば同會議は黨派又た階級等を問はず愛國的同志の團結を計り憲政制定議會に於ける中心勢力たることに努力し又豫備議會に選出されたる同會員は閣員等を協力し……

……發狀なく市場も至つて平穩也

◎譚浩明湖南に向ふ

……日湖南に向つて南寧を出發せり（北京特電）

廣西督軍譚浩明氏は二十四……



羽毛類各種　高價買入

鶴鷺鴨雉子鶏尾等は高價に買入申候御便宜次第御相談可申候

東京市下谷區上車坂町一　神田商店　電話下谷三六五番　振替東京一八三四五番

自働車　ダライ盤　ボール盤

右至急賣却す御希望の方は左記へ御來談を乞ふ

京城黄金町二丁目四八　岩田仙太郎　電話二九四番

胃腸最新藥　ヂスケチン

合資會社　開城商會

賀　田村質店

眼鏡　米國製金張眼鏡　中村眼鏡店

朝鮮彙報　大正六年十一月號（定價二十五錢　郵稅二錢五厘）

◎口繪

司法官に對する總督訓示

一治道工事の竣工　宇佐美土木局長

朝鮮人の死亡率　遞信局

眞諦と俗諦　釋宗演

最近の法律思潮（承前）牧野博士

▲販賣店　朝鮮各地の書店に販賣す

▲廣告料　一頁金七圓

取扱店　京城本町　ウツボヤ書籍店

苗木　植物　花卉　目録定價表進呈

兵庫縣川邊郡山本村　百花園種苗場

各宗寺院御用達　御佛具調進所　京城本町二丁目　小倉佛具店

朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

支店　東京、大阪、神戸、下關、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦……

出張所……

右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

京城電氣會社製　特約販賣　コールタール

金物商　島田忠作商店　龍山漢江通り八　電話四九番

於朝鮮釀造品評會　優良賞受領

最上清酢　商標　植山本家

最上清酢は今回朝鮮釀造品評會に出品中優良賞受領の光榮を得申候は江湖各位の深厚なる賜と感謝の至りに候

自今一層品質を吟味し御高志に酬ひん事を期し申候間多少共御用命願上候

三矢酢造場　植山仲次郎　京城本町四丁目　電話三〇七五番

……する北軍の陣形は劉存厚氏の軍を……扶力隊となし之に湖南軍の……湖南北軍の軍を合し……南軍を一……

▲湖南北軍連大……

……現氏は中央政府よりの罷免命令に……服せず其理由は該命令が……

猛獸獵家英人ゼームス氏の案内役となり……

山本氏の朝鮮虎狩(四)

◇騎客荒涇の成金章を尻目に
◇來る六日より序幕開かる!

=元山安國賢=

狩場端川郡……合砲手の……近かき咸南の北端……大虎棲息し……好地點……の責任……猪に近き十里程、松汀里の住人安國賢と云ふ砲手、彼も亦た谷將の姿龍根と同じく十七歳から猛獸狩りの群に入り、十三歳の現在迄一向猛獸狩りに身をやつし、近かくは昨年中に……た猛獸許りでも、虎二頭、豹三頭、熊五頭にして、猪の類は十數頭に及んで居ると云ふ、此安砲手を班長とし

◇第四班　端川
安國賢、朴大一、田成烈
と云ふ顔振れで、……の兩名共何れも北鮮銃獵界には名を知られた猛獸擊ちである。

=征虎軍幹部=

北鮮將宿の征虎軍本隊、仁川の……組及び元山二組を合せ、五組の……手十五名勢子十九名は、何れも……道の名人達人のみの一粒選りで、全く理想的人選編制と稱す可きもの、此の猛者連は前記の如く……來る八日より結束して……出發獵地に向ひ……用兩組の虎狩隊と共に……

=統御山本氏=

……

終幕大卷狩

行動して猛虎を狙ひ……

◎六十貫の大熊を斃す

……

◇神寶奉納の儀

滯りなく終了

◎慘殺、放火?

一家四人燒死

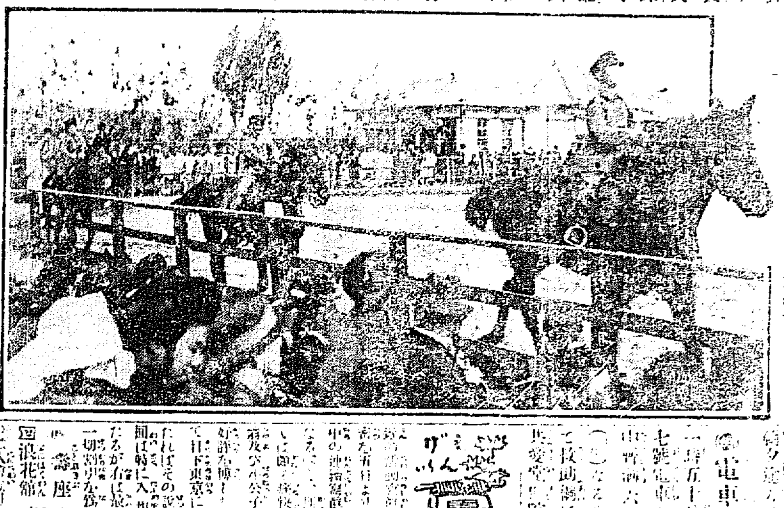
◎何故寒い

一時的の寒さ
永續きはせぬ

……昨日迄は例年に比べて暖かかつた氣候も四日の晝頃から西北風強く、温度が急降して四日の午後六時京城は攝氏三度六分を示し例年に比べて零ろ三四度も下降して居る原因は日本海に現はれた低氣壓が漸次東進し來り一方大陸に現はれた優勢な高氣壓の爲め氣壓の急傾斜……

◎花形の少年騎手

京城乘馬俱樂部の秋季大會



◎脅迫状で

一千圓の強奪
家農を嚇す

◎烈風中の競技

京城俱樂部の庭球大會

◎水原神社遷宮式

◎困つた女房

◎電車に衝突

潜航艇の秘密

今日より

大金を騙取す

……全北井邑郡龍北面三泉里土木請負……及び目下住所不定金……ある事無かなるも自分に資本なきため僞造に要する器械及び藥品代として金一千圓を出金せば共同事……鐘銀貨を僞造すれば莫大な……

洋酒罐詰卸商
釜山長手通
あづまや商店
振替京城三九番

長岡商店
釜山弁天町長手通

米穀用器具　收穫用器具　販賣
竹製消火器
朝鮮勸農商會
南鮮發賣元

明治屋本店
釜山大倉町壹

内外　冬物　雜貨
近藤商店

洋菓子
トミヤ商店
釜山幸町

天下一品
白鶴
増本酒店

釜山商店案内

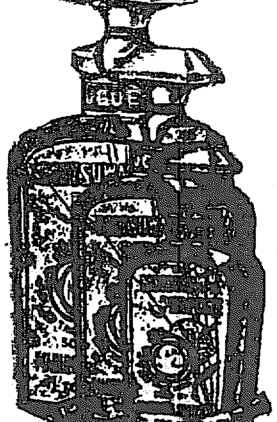
出品廣告
大勉強
雜貨卸商
瀬戸商店

周易
金石堂

職業
上田總本店

新案特許　純良護謨製　大阪　宗田商店謹製
ミツワ水枕
凡ての家庭には必ず一個の水枕を備へざる可からず
子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものであります＝學生が勉強して疲れた時などは水枕をすれば頭直ちに元氣を恢復します。
ミツワ水枕は枕の内に割壁を設け、中へ氷水を入れると自然に凹字形になるやうに製してあります、左右に揺れたりチヤプチヤプしたりすることなく、其れに兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力は最も完全であります。
總金も又、多年苦心の結果漸く案出したる、極めて簡便にして且つ完全なるもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります。
(大形縮寫圖)
定價　大形　金壹圓　中形　金八拾五錢　小形　金七拾錢　特製　金參圓

種類
ヴアヰオレット（すみれ）
ローズ（ばら）
リリー（ゆり）
ムゲット
ミモーサ（花の名）
ブーケー（花たば）
◎三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つて居ります。
◎香は人によりまして、嗜好を異にして居りますから、先づ三百番として、六種の香を製しましたものを發賣いたしました。更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫であります。
◎香水は折角高價を拂つて求めても、その香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一瓶に小瓶の見本を添へてありますから、御嗜好に合ふものをお召しになる便利があります。
◎普通香水は容器の體裁を飾る爲に、餘計に高價なものになる弊がありますが、三百番香水は正味のみを目的として居りますから、自然價格も無類の低廉なものになつて居ります。



贅澤で、經濟で、而して最も優良な
三百番香水
定價　各種均一
小壜入……金五十錢
中壜入……金一圓五十錢
大壜入……金二圓五十錢

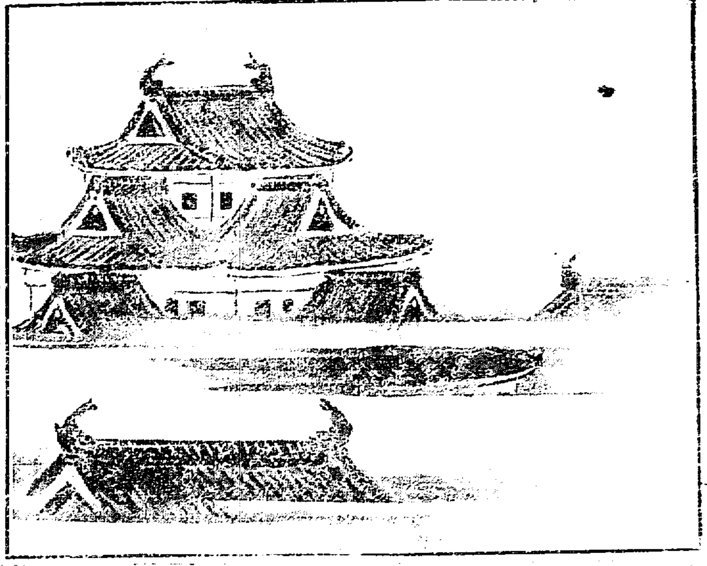
熱した椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる
毛髪の衛生に適し、色艶を麗しくする、純良なる椿油
ミツワ椿油
◎ミツワ椿油は製造法を改良し、新鮮の椿の實を精選して、特に内地に取寄せ、外皮を悉く取去り冷壓法で少しも熱を加へずに搾取したもの故に厭ふべき臭氣を發する遊離酸や、含水素物等を含んで居ない、新鮮純良な椿油である。
を常に御用ひになつて居ると毛髪に滲込む力が強いので毛髪と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髪に接觸る結果漂白と云つて、毛髪の黒い色素が段々に減り折毛や白毛に早く成り易い憂ひを除き毛髪の發育を助け、艶を美しくし、凝つて臭氣を發することも無く、毛髪の發育を助けて、何時も艶々しい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂ひは決してないのである。
定價　小壜　金貳拾錢　中壜　金参拾錢　大壜　金五拾五錢　五合入　金貳圓五拾錢

櫻御殿

第五十七回　大阪入（三）　大阪霞の家主人

大阪の城には秀頼が居る、その小さい天下の主を抱いて、後見の役に當つて居るのは、毛利中納言輝元であつた、三成の事勢假し關ヶ原に敗れたりとも、大阪の根城が嚴として聳ゆるからは、家康は十分の安心が出來ない、關ヶ原で討ち漏らされた者や、太閤に恩顧を持つ西國大名の生殘者が、大阪に立籠つて、家康の軍勢へ一挙つに決したら、その結果は何うなつて居たか知れない、況して其時の毛利輝元は、家康に亞ぐ大勢[illegible]

康がそこに居て、天下の大勢を押して居た、それが上杉討伐の知らせを得て、匆惶と江戸へ歸ると、三成は待ちかねたやうに輝元を迎へて、その西の丸へ入れた、されば輝元は事實に於て、家康の名代になつたと同じである、されば家康は、表面に於て秀頼に敵意なしを公にしても、實際の成行として、また自己の[illegible]として、輝元を大阪の城から追はねばならなかつた[illegible]輝元の下に居て[illegible]



かゝつて居た、輝元が幼主を挟んで、天下に號令する事となつたら、上杉佐竹の關東大名も黙つては居まい、加藤、福島、黒田、淺野、前田の諸家も、秀頼を捨てゝ家康の手にはつくまい、されば天下は二つに岐れて、世は戰亂の巷となる

關ヶ原に勝つた家康は、これからまた此の大難を切つて超ねばならぬ、關書を見殺しにしたのは、この大事を處理する前の小事であつた爲めである

その時の大阪城は何うかといふと、本丸には秀頼が居る、さうして太閤の遺言に由つて、秀頼後見の位に坐つた家康が居た、西の丸には、毛利輝元が入つて居る、本丸は幼主の御座所で、西之丸は天下を統宰する政廳と云はゞ云ふべきである、太閤の薨後は、家[illegible]大藏太輔正家の三人であつたが、正家は伊勢征伐に出で、玄以は病氣で引籠つて居たので、實際の相談相手は長盛ばかりであつた

關ヶ原で不覺の破れを取つて、一方の血路から大阪城へ引き上げた宗茂や毛利秀元は、『此の城で一戰いたさう、此の城には豊公の御靈魂が宿らせたまふ、すれば容易に敗北することはござるまい、その間に上杉佐竹が東から攻め上り、前田が北から應援致さば千に一つも不覺を取る氣遣ひはござるまい』と云つたが、肝心の輝元は小首を傾けた

『さうして秀頼公の御運を傾けるやうになつては爲らぬことはよく〳〵考へねばならぬ處ぢや』

輝元が、前へ進まねばならぬ場を後へ退いたなは、樣々入り込んだ關係もあらうが、重な關係は[illegible]

[illegible]そこで今度の事は、奉行共が謀[illegible]出で、貴様や秀頼公は御存じのない事である、さて御迷惑であつたであらう、家康に於ては何んの凝滞も無い、その遊け悪しから[illegible]下され〳〵と云つて進た、その爲め、宗茂や秀元から、最後の一合戰を迫つても、輝元は耐かなかつた

其間は、家康の計謀は[illegible]功を奏する、先陣を命じるなぞと云はれたことを、[illegible]よつと面の色を變へたが、一秀頼公はまだ幼い、淀殿は御婦人ぢや、何事も御存じあるまい、[illegible]ことはならぬで、貴様は速かに大阪へ赴き、毛利、増田の兵に代つて、西の丸の處置を致しくれようぞ』と云はれたので、また歡びの色を見せた

『[illegible]うござる〳〵』口の中で感謝して、家康が大津[illegible]人の先を打つた、然も家康は、闘着の事について一言だも云はなかつた

[illegible]古川[illegible]多人數、早く家康に内應して、まさかの時の用意に、人質を送つて置いたからである、廣家は今度の合戰が何れの勝利となるとも知れぬので、何う逃つても毛利家の間に瑕を付けまいとの[illegible]から、關ヶ原の一戰敗北の報らせを得ると共に[illegible]わたくしの一命にかけて、内府公の御心を解きます、大阪籠城の御心なぞ持たれますな、それが却つて秀頼公への御[illegible]奉公になります[illegible][illegible]

冬

冬　一五の日中の日行

浮碧樓

[illegible]　多近き行李を明けこの行李なかりし

[illegible]　多近霧おびたゞしい晩で戻[illegible]

柿　田

新刊紹介

▲大正武[illegible]好児[illegible]

▲大日本[illegible]

▲滿蒙研究彙報[illegible]

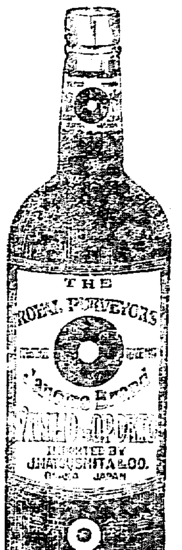
[illegible]

皮膚科　黴毒科
皮膚病　黴毒　淋病　腎臟病　生殖器　機能障碍
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目
佐藤醫院（電話一七一三番）
入院設備（診療設備完備）

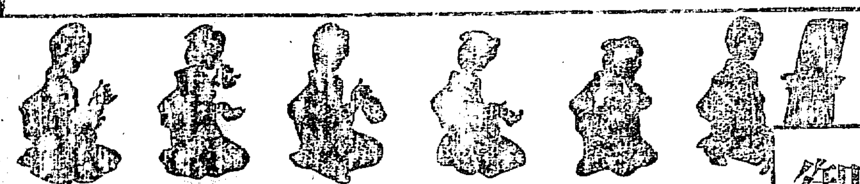
百圓
りん病　ばい毒
三百圓　二百圓
合藥　特製
諸病原菌は淋菌及梅毒菌等に於て常規配劑せる藥劑とし醫藥學上最有効と確定し證言に遵る事を保證する者あることを發見せる時は分析料として百圓進呈
帝國醫科大學院
▽あらゆる治療を試みるも効なき患者は一度來談あれ
にせ物あり
大阪有田　販賣
京城南大門外停車場通
大阪ドラッグ商會　京城本部
京城南大門外停車場通　元山本町　京城本町
大阪ドラッグ商會
ドラッグ

ルーデサック
[illegible]

滋養強壯
芳香美味
登録商標
蛇の目印葡萄酒
本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血強壯剤を配合し精製せし滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を增し肉を肥し殊に誇るべき精力を強くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養強壯飲料なり
賣捌所は全國到る處の諸食料品店及藥舖、雜貨店にあり
【類似品あり登録商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】
發賣元　洋酒　食料品　罐詰　煉乳　家庭藥　雜貨　直輸出入商
大阪市東區高麗橋貳丁目
松下善四郎
電話本局一八五　長一八二〇　電信略號マツセ　振替口座大阪一六



(現品縮寫圖)



御用品となれる……美容料
ホンノリ色白くなる
レートフード

◇精分が非常に強い
レートフードには他にない新發見の新美容素が含れてあり、これが皮膚を養ふ強い成分を持つて居りますから、附けた初めはヌルつく心地が致しますがこれは毛孔を開いて肌の根底を整へる作用で、暫く掌で摩擦して居られると直ぐ滑かに氣持よくなり、お肌をきめ細かに色艶を増し、科學的の不思議な作用は自然にホンノリ色を白く致します。

◇品がよく美くしい
レートフードの素顏を美くしくし、ホンノリ色を白くする具合は頗る自然な上、上品で厶いますから、高貴方の御用品たる名譽を得て居ります。そして日常家庭化粧料として、男女共、儀容を整へられる素化粧、隱化粧料として實に天下一品で、殊に肌荒れのする此季節に、お用ひになつて觀面其効果がお解りになります。

レート化粧料本舗
東京　平尾贊平商店

印度方面危險

瓜哇丸船長談

[illegible]初敵手に依りて投せられたる水雷なるか將た又英國側の警戒防禦[illegible]ものたりしか疑問とせられたる所なるが今日に於ては敵手に依りて[illegible]如く埒明かざることを[illegible]は本邦より[illegible]したるトロー[illegible]の油[illegible]をなさとりし[illegible]古倫坡以[illegible]デラグワべーに至る[illegible]は未だ其の[illegible]不充分にして[illegible]若くは古倫坡附近より[illegible]一段の危[illegible]ながら[illegible]の[illegible]の汽船は何[illegible]軍が[illegible]を全[illegible]せし風說[illegible]とせず[illegible]して同沿岸には[illegible]航行の際[illegible]害せられ目的を果[illegible]

大連名士往來

吉長[illegible]　谷一兩[illegible]滯在し七日京城[illegible]に向ひたり▲關東都督府民政長[illegible]との打合せ事務の爲め五六日大連[illegible]▲示度[illegible]▲[illegible]宮尾好治氏は本月十五六日頃[illegible]

朝鮮郵船

本社　京城[illegible]　電話長一九五二　三二三番
釜山港佐藤町　釜山支店
元山港海岸通　元山出張所
仁川港代理店　堀　同廻漕部
京城南大門通[illegible]

釜山發	三浦丸　十一月十三日、慶州丸　十一月廿日、京城丸　十一月二十四日
元山發	咸鏡丸　十一月五日、成鏡丸　十一月八日、京城丸　十一月十三日、忠清丸　十一月十七日
元山發	平安丸　十一月[illegible]日、京畿丸　十一月[illegible]日
元山發	咸鏡丸　十一月[illegible]日
釜山發	江陵丸、來迎丸　毎日
釜山發	慶[illegible]丸　十一月六日
木浦發	濟州島行　公州丸　十一月四日、[illegible]十一月[illegible]日
木浦發	天丸　三日目毎に
木浦發	慶興丸　十一月十二日

大阪商船仁川出帆

大連行	信ノ川丸　十一月十一日　午後二時出
大連、神戸、大阪行	汕頭丸　十一月[illegible]日
木浦、釜山[illegible]行	安東丸　十一月十六日　午後二時出
鎭南浦行	漳州丸、南[illegible]丸　月　日　午後二時出
鎭南浦行	安東丸、安平丸　十一月[illegible]日
西湖津行	西平丸　十一月八日　後二時出
濟州島行	宮島丸　十一月十五日　午後一時出
上海、基隆、打狗行	基隆丸　十一月十六日　後四時出
	湖北丸　月　日

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
切符發賣所　内鮮運輸會社京城支店　電話二二〇一五一八番
切符發賣所　仁川京城通　開埠旅館　電話二六一番

日本郵船仁川出帆

大連、太沽(天津)牛莊行	大連、太沽(天津)牛莊行　十一月九日、知撫丸　十一月十五日、三河丸　十一月廿日　正午出
	仁川港埠頭町一丁目　堀回漕部

仁川發	香川丸　十一月七日、發丸　十一月十二日
仁川發	仁川丸、宮福丸　十一月六日
仁川發	全州丸、錦江丸　毎日
仁川發	江原丸、南[illegible]島丸　月　日